

公表日

令和 8 年 3 月 20 日

事業所名

こぼんはうすさくら 彦根教室

保護者等数(児童数) 33名

回収数 16件(割合49%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16件	0件	0件	0件		工夫をして行っております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8件	3件	0件	5件	スタッフは少し少ないように思うが、利用児が何人居るのかはわからない。	その日の利用人数に応じて、職員の配置をしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11件	2件	0件	2件	死角になる場所がある事。スタッフ同士の伝達は必要である。	各部屋に職員が配置できるよう配慮いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14件	1件	0件	1件		出来る範囲で保護者様やお子さんのご希望に応えるよう努力します。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11件	4件	0件	1件	死角になる場所や部屋がある事。スタッフ同士の伝達は必要である。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14件	1件	0件	1件		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15件	1件	0件	0件		相談員さんからの計画と施設内での様子を見て、職員会議を実施しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13件	2件	0件	1件		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12件	2件	0件	2件		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15件	1件	0件	0件		毎月ワクワクしながらプログラムを職員も考え、季節の行事を取り入れています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5件	1件	3件	7件	地域との交流はないように思う。	地域連携を強化し、交流の機会を設けたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14件	1件	0件	0件		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14件	0件	0件	2件		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14件	1件	1件	0件	一緒に勉強したりがあると良い。	合同で研修が出来るよう講師をお招きし、職員・ご家族様含め学べる環境を構築いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16件	0件	0件	0件		今後も保護者様と連携し、支援に繋がっていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13件	3件	0件	0件	以前に比べては出来ていると思うが、もう少し話し合いの場があってもよい。	今後、保護者会等を実施していき、保護者様とのコミュニケーションを取れる機会を考えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14件	1件	0件	1件		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12件	2件	0件	1件		今後、保護者間親睦・支援の連携を目的に、実地計画していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11件	1件	0件	3件		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14件	2件	0件	0件		ひとつひとつにしっかり向き合い、対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14件	0件	0件	2件	インスタで見ている。	月2~3回程度LINEで利用時の様子をお知らせしたり、インスタグラムも活用しています。順次、通信のようなお手紙も発行していきたい様に検討しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13件	1件	0件	1件		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6件	0件	1件	8件	スタッフで訓練されていたり、マニュアルがあるかは知らない。	訓練等を行っていますが、保護者様への通達が出来ていないので、ツールを用いお伝えいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7件	0件	0件	8件	今年に行ったと聞いている。	実施しているが、保護者にもっと伝えられるように連絡していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12件	1件	0件	3件		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12件	1件	0件	3件	以前より早く報告して下さいにはなったが、報告しなくてはいけない事はしっかりしてほしい。	記録等の保管や伝達を速やかにできるよう、職員への周知を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16件	0件	0件	0件		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15件	0件	0件	1件		もっと楽しみにして頂ける様なプログラム内容にしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16件	0件	0件	0件		これからももっと保護者様、児童に寄り添い支援に努めていきます。

公表日

令和 8 年 3 月 20 日

事業所名

こぼんはうすくら 彦根教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		以前はそうではなかったが、最近は改善している 部屋は広いが、スペースの区別があまりないように思う	資格者や職員体制を念頭においている
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		日によって変わる 人員不足なので人員は欲しい	職員の質を向上し、無理のない人数で療育する
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	まだまだ改善が必要な点がある 視覚支援が行えている場所、そうでない場所がある 視覚支援として活用している物が少ない	本人が分かりやすいように顔写真を提示し、自分が何をするか、次になにをするかわかる様に工夫しています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			毎日する、週でするなどの掃除の分担を職員でしています
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		その時の状況によるが、対応できるときは使用してもらえている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	個別支援会議は出来ており、朝礼などで振り返りも話し合っている	職員単体で動くことが多いが、統一できる様定期的に職員会議や朝礼で時間を作っています
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	取り入れられる内容は取り入れられている	周知を行い支援体制の向上に努めます
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	職場の意見を本社は取り込んでくれない 全体に周知出来ていないことがある	面談など職員の意見を聞く機会がなく、今後行う予定です
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		いろんな業種と連携を図り評価を受ける
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		今まで出来ていないことも多かった、今は出ている	職員会議を行い職員間研修、実際の演習を行っている最中です
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		領域に沿った支援プログラムが配られている	会議で特性など鑑み作成をし、公表も行っている
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者様からのアセス、相談支援事業所からの支援計画を元に作成している	隠れたところにもニーズがあることを念頭に、児童と関わり支援計画へ活かしている
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		原案を立て、その後支援会議をして職員の意見を出し合っている	一番は利用者主体ということを念頭に置き会議が行っている
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援はまだ出来ていないように感じる スタッフによる	共有は出来ているが、計画に沿った支援体制はまだ不十分だと感じる
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		地域支援・連携はできていない	社会資源を活用し地域連携、インクルージョンの推進を図ります
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラム会議で意見を出し合い立案している	子供に合わせて組み分けをする
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		一応できている。固定化しないように内容は変えている	みんなが参加できる様にいくつかのレベル分けをしたり、活動へのお声掛けなどをしています
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団をメインにしている	集団活動が円滑にできるよう支援にあっている
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	朝礼で振り返りをしている	朝礼・昼礼をし、その日の担当や役割を決めている
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	送迎から戻りLINEで情報共有もしている 児童の事に関しては話す支援にあつてのスタッフの動き等は全体では話せていない	定期的に会議を行い支援の統一化に努める

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			日報には書いている記録はあるが、それを元に話す機会は設けられていない	1日1日担当を決め、担当した者が責任をもって記録をして、改善が出来るよう努めます	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			職員の気付いた点をみんなで話し合うようにしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○				
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		特性にあった工夫が出来ていないので、取り組んでいきたい	障害特性の理解の為、研修や会議を行い個人個人に応じた支援が提供できるよう努めます	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		あまり参加が出来ていない、今まで参加が少なかったので増やしていきたい		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	外部機関との連携がないので、体制を整えていかないといけない	密に連携を図り、支援の質向上を図ります	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎の際に学校側から知らせてもらった、質問をしたりしている	送迎時や必要に応じて担任を含めた会議を行い連携を図ります	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	外部との連携が本当になかった。地域連携をしていきたい実績がない	今後連携を強化していきたい	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			児童部会に必ず参加し、圏域の方針の理解や研修内容の理解に努めている		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に伝えあうことは出るがまだまだ少ない	伝達を密に行い、課題に速やかに解決できるようにしていく	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	何カ月に1回はお楽しみ会という名のプログラムで、ご家族様の参加を行っている	家族支援の観点からは不足している為、外部講師を招くなど共に学べる機会を設けたい	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		支援プログラムに関しては、細かな説明を別紙にして渡している	説明だけではなく、理解されているかを確認をとる
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントシートや話す機会がある際に意向を聞いている		
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明を行ったから同意を得ている		
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談は行っていないが、相談などには応じている		
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			定期的に保護者参加の活動を設けている	定期的に計画を予定しています
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		行っている		
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		HPなどに写真を掲載する際は、必ず特定されないよう留意している		
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援（子供が見てわかりやすい）に配慮して情報伝達している	不定期でもお子様の様子や保護者様のお声を聞けるようなツールを構築していく	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域との交流が全くできていない	今後検討中	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルはあっても周知が出来ていない	ツールを用い保護者様にも周知を行います
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		子供の状況は確認は出来ているが、知識がまだまだ乏しい	細かい聞き取り・対応を確認し、何時、何があっても職員が対応できるようにしている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		周知を行い事故防止に努めている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修や訓練はまだまだ必要とする	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	ご家族さんへ伝えられてない	お伝え出来るように尽くします
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを書きやすいように、様式・ファイルを変更した	職員会議・朝礼で対策を考えすぐ実行していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員が全員参加し、行えている	研修を通して虐待防止に努めます
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化研修を定期受講している	必要な利用者には説明を行い了解を得たうえで、身体拘束廃止に向けて会議や環境設定に努めます	